

整理番号	HT28207	分野	農学	(キーワード): 農業、環境、生態系
------	---------	----	----	--------------------

京都大学

中国の環境汚染の解決へ、君はチャレンジできるか

先生(代表者)	稲村 達也(いなむら たつや)大学院農学研究科・教授				
自 己 紹 介	21 世紀の農業の生きるすべを考えています。すなわち、21 世紀の農業は、衣食住のための生産活動という古くからの基本的命題に加えて、地域環境はもとより地球環境の保全という極めて重要な命題にもかかわることになってきているのです。趣味は釣り(アメゴ、アユ、グレなど)と日曜大工。				
開催日時・主な募集対象	平成28年8月20日(土)	(対象)	高校生	(人数)	30名
集合場所・時間	農学部 農学生命科学研究棟 玄関		(集 合 時 間)	9:30～9:45	
開 催 会 場	京都大学農学部 農学生命科学研究棟 セミナー室 1 および実験室 住所: 〒京都市左京区北白川追分町 アクセスマップ: http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_n.html				
内 容					
作物の生育の良否は作物が吸収した窒素の量によって決まります。そのため、作物に対する窒素の施用が必要になります。中国では多量の窒素(化学肥料と家畜糞尿)が作物生産のために施用され、作物に利用されなかった余剰な窒素が環境汚染の原因のひとつとなっています。訪れることが難しい中国における農業と環境汚染の実態を中国とのネット中継や、中国の河川水と受講生の身近な河川水の水質分析と分析結果の比較などを通して理解し、環境汚染の解決策について勉強します。					
スケジュール				持 ち 物	
9:30- 9:45 受付(農学部 農学生命科学研究棟 玄関 集合)				筆記用具、電卓、昼食	
9:45-10:00 ガイダンス(挨拶・オリエンテーション)				特 記 事 項	
10:00-10:30 講義「中国における農業による環境汚染とその対策」: (休憩)					
10:45-11:15 講義「中国における畜産業と環境汚染」 (休憩)				・中国とのネット中継は日本語通訳を介します。 ・受講生は、大学から送られてくる採水管、スマートレターを使用して、身近な河川水を採取し大学まで郵送します。 ・化学分析時に使用する保護ゴーグル、白衣などは大学で準備します。	
11:30-12:30 実習「中国での農業と環境汚染のライブ体験」 (中国とのネット中継)					
12:30-13:30 ランチョンセミナー(昼食、科研費の説明、休憩)					
13:30-14:15 実験「中国と身近な河川水の水質分析と結果の検討」 (休憩)					
14:30-15:00 実習「シミュレーションモデルの作成とモデル計算」 (休憩)					
15:15-16:00 ネット中継を利用した総合討論(すべての関係者参加)					
16:00-16:30 休憩と懇談(軽食と飲み物、大学院生の研究生生活紹介)					
16:30-17:00 修了式(アンケート記入, 未来博士号授与)					
17:00 終了・解散					

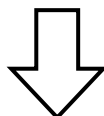
《お問合せ・お申込先》

所 属・氏 名：	京都大学大学院農学研究科・稲村達也
住 所：	京都市左京区北白川追分町
T E L 番 号：	075-753-6473
F A X 番 号：	075-753-6473
E - m a i l：	Inamura@kais.kyoto-u.ac.jp
申込締切日：	平成28年7月11日(月)

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、7月25日(月)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
稲村達也	H21 ～ H25	基盤研究 A (海外学術)	21255007	中国西部内陸部の集約的農業における環境負荷の現状評価とその改善に関する研究
稲村達也	H26 ～ H30	基盤研究 A (海外学術)	26257411	中国西部内陸部の集約的農業における持続的な環境負荷軽減技術の構築とその評価



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。